

# みんなの議会だよ

題字：鮫川小学校  
5年 木村 隆一さん



3月定例会

青少年広場改修工事など可決!

- 一般質問に7議員登壇 …… 5~12
- 村民の広場 …… 13
- 第7回鮫川村こども模擬議会 14~17
- ふるさと鮫川への想い …… 18

# 大規模改修へ

3月  
定例会

11.1%の増



大規模な改修工事が決定した青少年広場

## 公共土木施設災害復旧事業に1億円 農業用施設災害復旧事業に8千万円



関根政雄 村長

### 3月定例会の あらまし

3月定例会が3月10日から16日までの7日間の会期で開催されました。  
第1日目に一般質問を行い、7名の議員が登壇。活気ある役所づくりや、魅力発信と認知度の向上、鮫川村中心市街地活性化協議会の進捗状況、さらには定住化策や、旧青生野小学校施設の運営、歯科診療所閉院など様々な問題を取り上げ、村政を質しました。  
また、鮫川村簡易水道事業基金条例制定を含む条例9件、令和元年度補正予算10件、令和2年度予算10件、専決処分の承認4件、公の施設の指定管理者の指定1件、辺地計画の策定9件の提案理由の説明がありました。

第2・3日目に、総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会を開き、第4日目の合同議案調査と共に、議案を審議しました。  
最終日に、審議した条例、補正予算、令和2年度予算、指定管理者の指定、辺地計画の策定を含む43議案を原案どおり可決し、請願1件を採択しました。  
次に、議員発議による、意見書提出1件を日程に追加し、原案のとおり可決しました。  
また、副村長の選任及び教育長の任命につき同意を求める人事案件2件、人権擁護委員の推薦につき意見を求める人事案件1件を日程に追加し、原案どおり決定し、閉会しました。

#### 条例を制定しました

##### ▼鮫川村簡易水道事業基金条例

鮫川村簡易水道事業で実施した施設の維持管理及び償還財源の確保を図り健全な運営に資するため

の条例を制定するもの。

##### ▼鮫川村集落排水事業基金条例

鮫川村集落排水事業で実施した施設の維持管理

及び償還財源の確保を図り健全な運営に資するため

の条例を制定するもの。

ここに注目!

令和2年度  
一般会計予算

# 青少年広場が

前年度比

## 令和2年度予算確定しました

会計別	31年度予算額	2年度予算額	伸び率	
一般会計	28億8000万円	31億9900万円	11.1	
特別会計	国保 事業勘定	4億3245万4千円	4億2350万円	△ 2.1
	国保 直診勘定	6420万8千円	7140万5千円	11.2
	簡易水道事業	1億2712万5千円	1億2810万6千円	0.8
	村営バス事業	1055万円	900万円	△ 14.7
	集落排水事業	3483万3千円	3222万3千円	△ 7.5
	介護保険	4億9182万2千円	4億8683万3千円	△ 1.0
	交流施設	1397万円	1760万円	26.0
	学校給食センター	1億41万6千円	1億34万円	△ 0.1
	後期高齢者医療	3779万3千円	3964万5千円	4.9
合計	41億9317万1千円	45億765万2千円	7.5	



## 2年度の主な事業と総事業費

歳出			
村づくり協議会事業	549万5千円	ふくしま森林再生事業	7850万2千円
移住支援事業	100万円	宿泊施設取得整備事業	5848万8千円
乳幼児、妊産婦医療費助成事業	1105万円	道路改良事業	7160万9千円
予防接種事業	915万2千円	定住促進住宅解体工事事業	820万1千円
清掃活動事業	237万7千円	消防団活動事業	1829万8千円
鳥獣被害対策事業	653万6千円	消防機械器具等整備事業	2946万2千円
大豆振興対策事業	1738万6千円	青少年広場大規模改修工事事業	1億5865万円
中山間地域直接支払制度事業及び多面的機能支払交付金事業	1億1837万1千円	過年度公共土木施設災害復旧事業	1億725万2千円
		過年度農業用施設災害復旧事業	8057万2千円

### 条例の一部を改正しました

- ▼ 鮫川村印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例  
旧氏に関する記載及び青年被後見人の記載の修正並びにその他文言の整理を行うための条例の一部を改正するもの。
- ▼ 鮫川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
令和2年度税制改正による賦課限度額の引き上げ、軽減措置の所得判定基準額の引き上げについて改正するもの。

- ▼ 鮫川村交流施設設置条例の一部を改正する条例  
交流施設ほつとはつす。さめがわの客室や浴室、体験館などの使用料を変更するため条例の一部を改正するもの。
- ▼ 鮫川村交通教育専門員設置条例の一部を改正する条例  
鮫川村交通教育専門員について、地方公務員法及び地方自治法の一部改正により会計年度任用職員へ移行するため条例の一部を改正するもの。

- ▼ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
地方公務員法及び地方自治法の改正により、会計年度職員とすべき社会教育指導員を削除するため条例の一部を改正するもの。
- ▼ 単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例を廃止する条例  
平成18年4月から本条例の規定の適用はなく、今後も見込みがないため廃止するもの。

- ▼ 鮫川村奨学金設置条例の一部を改正する条例  
鮫川村奨学金に寄付があったため、基金の額等、条例の一部を改正するもの。

議案  
調査

# 新年度事業計画を 徹底調査!



担当課に事業内容の説明を求めた合同議案調査

新年度における新規事業と継続事業について、各常任委員会による合同議案調査を実施しました。

## 総務文教 常任委員会

**問** グラウンド改修工事の1億5692万4千円の内容は

**答** スポーツ振興くじ助成金を活用した、大規模改修工事

**問** 単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例廃止は

**答** 地方自治法及び地方公務員法の改正により会計年度任用職員へ移行するため

**問** 賦課徴収費の報償費271万4千円は

**答** 納期前納付報奨金や納期前完納組合報奨金など

**問** 体育館補修工事の122万円5千円の内容は

**答** 中学校体育館正面玄関の外壁修復工事費

**問** 地方振興費の報償費は

**答** 組長事務取扱報償の158万6千円と善行者報償の2万円

**問** 観光費の工事請負費5500万円は

**答** 宿泊施設(旧つるや旅館)改修工事費

## 産業厚生 常任委員会

**問** 国民健康保険税条例の一部を改正する条例は

**答** 令和2年度税制改正による賦課限度額の引き上げ、軽減措置の所得判定基準の引き上げについて改正するもの

**問** 老人福祉費の報償費741万4千円の内訳は

**答** 敬老祝金382万円他

**問** 農業振興費の委託料1542万5千円の内訳は


**答** 大豆脱粒・選別や米全袋検査の業務委託

**問** 社会福祉総務費の負担金、補助及び交付金2462万3千円の内訳は

**答** 村社会福祉協議会活動費補助金2447万9千円他

# 議員7人が登壇ズバリ!! 村政を問う!

P 6



**北條 利雄**

- 活気ある身近な役所づくり
- 空き家対策
- 魅力発信と認知度の向上

P10



**関根 浩治**

- 人・農地プランの利活用
- 畜産クラスターの取組み

P 7



**森 隆之**

- 中心地活性化計画
- 県道71号 勿来・浅川線

P11



**遠藤 貴人**

- 持続可能な水道事業

P 8



**宗田 雅之**

- 移住定住策
- 耕作放棄地の対応


P12



**前田 武久**

- 歯科診療所
- 交流施設の閉鎖

P 9



**堀川 照夫**

- 旧青生野小学校の運営
- 住宅進入路の砂利敷



一般質問は、議員の日常活動を通じて、住民の声や自身の考え方をもとに、村長、教育長などの方針を問うものです。鮫川村議会は、一人あたり90分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議事の進行



**星 一彌 議長**

出席議員

**前田 雅秀 議員**      **関根 英也 議員**



北條 利雄 議員

## 問 活気ある身近な役所づくりを問う

## 答 村民に「役にたつ所」としての施策を展開する



行政サービスの中心窓口(住民福祉課)

### 質問

山積みする行政課題を解決し、村民が主役の村政を実現するために、座して待つのではなく、役所のカウンターを越えて積極的に村民の輪の中に出向き、村民の声に謙虚に耳を傾けるべきである。活気ある身近な役所づくりについて、「県や企業との人事交流」、「行政区単位での地域担当職員制度」「宅配行政サービス」への施策を問う。

### 答弁(村長)

「県や企業との人事交

流」は、積極的な人事

間交流を推進、職員能力を最大限に発揮できる環境づくりに努める。「行政区単位での地域担当職員制度」は、区長の職務軽減と支援、緊急発生時の対応、要望・陳情や提言の対処仕分け等、担当職員が積極的に区へ足を運び支援する制度の導入を確立する。「宅配行政サービス」は、足を運べない高齢者や障害者へ対応する行政福祉サービスの導入を検討する。

### 問 空き家対策の考えと対応を問う

法の趣旨による広報、適切な管理を指導する

### 質問

適切な管理が行われていない空き家等が防災・衛生・景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。地域住民の生命、身体、財産を保護し、その生活環境の保全と空き家等の活用を促進する「空き家対策法」がある。村民への周知と指導方策、法律に抵触する恐れのある物件の有無、空き家等対策計画の作成や組織づくり、関連団体との連携、空き家の実態調査、所有者の特定と聞き取り調査、空き家の判定とデータベース化など、空き家対策の考えと対応を問う。

### 答弁(村長)

「空き家対策法」に基づく周知がされておら

ず、趣旨の広報、適切な管理を指導する。村の空き家は132件(平成27年度時点)で、空き家の管理等の意向調査がある。法に抵触する物件の有無と件数は把握していない。今後、法の趣旨にのっとり、対策計画の作成、実態調査、データベースの整備、空き家と跡地の活用を促進、特定空き家に対する措置等の促進に努める。

### 問 「魅力発信と認知度の向上を問う

「オール鮫川」で村づくりに取り組み

### 質問

地域の活力を維持・増進し持続的な発展を可能とするためには、企業や観光客、移住者や各種団体から「選ばれる地域」になることが必要。産業の振興や生活環境の充実といった取り組みによる地域の魅力を高めるだけでなく、地域の魅力を選

ぶ側に対して適切に伝える努力が不可欠である。「地域住民の郷土に対する誇りや愛着の醸成」と「外部からの認知度向上及びブランドの構築」、「オール鮫川」の体制で本村の知名度や認知度の向上を目指す、「魅力発信と認知度」村づくりを問う。

### 答弁(村長)

様々な機会を通して、地域の振興、活性化のための有効な方法のタウンプロモーション。本村の理念やビジョンを一層明確化し、郷土の誇りや愛着の醸成、新たなブランドの構築に取り組み。「さめがわファンクラブ」の創設は、これらを起点に様々な有機的繋がりや活力をもたらし存在になる大事な取り組み。人材育成と配置、体制整備等々も重要。この村の魅力に磨きをかけ、認知度向上の情報を発信し、ワンチーム「オール鮫川」の精神で村づくりに取り組む。



森 隆之 議員

## 問 中心地域活性化計画の状況は

## 答 道の駅構想ありきではない、(仮称)村づくり公社の設立を目指す

### 質問

鮫川村中心地域活性化協議会の進捗状況と新年度の事業計画及び予算は。

### 答弁(村長)

鮫川村総合戦略に掲げた、児童公園を核としたコンパクトビレッジプロジェクトの具体化のため、中心地域活性化拠点施設整備計画の策定と、(仮称)村づくり公社の事業計画策定及び設立に向けた調査も含め協議検討をこれまで6回行った。新年度は、(仮称)村づくり公社設立の検討を進め、具体的に組織の立ち上げを進める計画である。協議会への補助金は550万円を予定している。

### 再質問

施設等の計画は決まっているのか。

### 答弁(村長)

どのような施設が必要なのかは決まっていない。ただし、道の駅構想ありきで協議会を進

めているわけではない。村民アンケートの中にも様々な意見が書かれており、きちんと加味した上で、将来の財政状況、既存施設との関連も踏まえて慎重に考える。

### 問 県道71号線勿来・浅川線の現状と計画は

### 答 早期実現に向けて、県に要望活動を行う

### 質問

県道71号線勿来・浅川線、内ヶ竜地区の一部区間が、台風や大雨によって毎回のように道路への土砂が流出し交通に支障が出ている。村としての対応は。また、県道の工事も、一部土地の問題があり断念せざるを得ないと伺っているが。

### 答弁(村長)

ここ数年村内各所で国・県道等への土砂が流出しており、その都

度土木事務所に土砂の撤去をお願いしている。県は、通行の支障になる車道について土砂の撤去を行うが、維持工事では、道路敷以外の工事はできない。村としては現在、原材料支給事業、生コンを支給する事業を行っており、地元の皆さんにコンクリート舗装にしてみようなど、そのような方法を講じていただけないものかと考えている。次に、県道の改良について、県道71号線勿来・浅川線は、村道内ヶ竜・

滝ノ下線との交差点から楢久保地内の改良済みの箇所までの460メートル区間で、今年度、県の方針として、用地取得困難区間約150メートルを除いて、買収済み区間内で暫定的に工事を完了した。今後は、楢久保地内から遠ヶ竜地内までの改良事業実施に向けて調査を行う。

### 再質問

用地交渉は、地権者等の様々な問題がある。村が発展するには、まず

### 答弁(村長)

村としても引き続き、内ヶ竜地内の未改良区間の事業継続と、楢久保地内から遠ヶ竜地内までの早期実現化に向けて、要望活動を行っていく。



内ヶ竜地内の未改良区間の土砂流出時のようす

◀ 次のページは

一般質問

宗田雅之議員・堀川照夫議員



宗田 雅之 議員

## 問 定住策を問う

## 答 種類の支援制度の活用を図る



補助金制度が制定されている西野宅地分譲地

### 質問

若者の流出、高齢化、そして空洞化が年々進む中、早急な移住定住策を講じるべきと考えるが、現状の施策と今後の案を伺う。

### 答弁(村長)

現在、利便性の高い近隣町村に住居を構える若者が後をたたない

事から、対応策として「村営住宅」「定住促進住宅」の建設、西野宅地分譲地の補助金制度や奨励金制度を制定している。さらに、公営住宅入居者への「子育て支援家賃補てん制度」「子育て住宅建設・リホーム助成金制度」の制定など協議しながら早急に講じる必要がある

### 再質問

と考える。移住定住策に関しては空き家情報の開示と、受け入れ側の熱意が必要。さらには、移住促進を図る支援制度も勘案した施策を検討する。

定住化を図るのには生活を維持するための所得が必要、そのための雇用の場が重要、対応策を伺う。

### 答弁(村長)

村には、優秀な企業が数多くある。既存企業が県に登録すると、移住者が村の企業に就職することにより受けられる、県の奨励金制度がある。登録して頂くよう商工会を通してお願いしている。また、新年度いち早く環境公社を立ち上げ、福利厚生を充実させ雇用創出を図る。

### 再質問

村には公設公営の施設、そして今後、公設民営の施設が出来る予定である。経営感によつ

ては、雇用の拡大に繋がる。今後の指導、方向性を伺う。

### 答弁(村長)

新年度以降、人材の育成など経営改善に取り組んでいる。職員の意識改革がなければ継続性はない。雇用を図るためにも、強く指導したところである。

### 問 耕作放棄地への対応は

中山間地域直接支払制度取り組みへの推進を図る

### 質問

山林、田畑の荒廃は、洪水防止機能、水源涵養など、農地のもつ多面的機能の喪失に繋がり、水不足や自然災害防御のためにも、大変危惧されるが、増え続ける放棄地への対応は。

### 答弁(村長)

中山間地域直接支払制度が、農地や周辺を

### 再質問

含めた里山環境維持に貢献してきたものと考える。今年度、第四期対策が終了するが、第五期対策に向けても、同規模の取り組みを目指して推進する。また、森林環境譲与税を活用し、経営計画の樹立、それに基づく森林整備を視野に入れ荒廃を防ぐための計画を進める。

昨年の台風19号により、田畑が甚大な被害を被ったが、災害対応によつては耕作放棄地が増加する。現地を確認し、国の補助金制度などの説明を地権者に話しているのか。

### 答弁(地域整備課長)

基本的には、地元からの連絡によつて現地の確認にいく。被害状況によつては、補助額が変わるので、この辺を含めて農家の方には説明をして来ている。





堀川 照夫 議員

## 問 旧青生野小学校の今後は

## 答 青少年の意見を聞き検討する

### 質問

閉校した旧青生野小学校の今後の運営について

### 答弁(村長)

青生野小学校は明治33年に鮫川第四小学校分教室として、昭和30年に青生野小学校創立



有効活用が待たれる旧青生野小学校

し、長きにわたり青生野区民に支え親しまれてきた。皆様の数々の思い出を残し、平成30年3月末に閉校となり、閉校から2年が経過し、現在は校庭の整備、教員住宅の解体も終了した。

国道289号線が全面開通すると、鹿角平観光牧場への集客力が高くなると予想され、交流関連施設としての有効活用も考えられる。今後の活用については、青生野行政区長はじめ区民の皆様、青少年の意見も聞き検討する。

### 問 住宅進入路への対応は

### 答 「生活道への砂利敷等支援事業」を検討する

### 質問

住宅進入路(門口)の砂利敷について

### 答弁(村長)

昨年10月に発生した



路肩崩壊や寸断の被害が発生した住宅進入路

記録的な豪雨で、本村も公道の決壊、橋の崩落、法面の土砂崩れの被害が発生し生活道の崩落、砂利の流出と家屋敷地の進入路の崩落に対し、住宅背後地等災害対策支援事業の要綱制定し財政支援策を講じた。「客観的に公益上必要がある」さらに「住民の生活圏を保持するための緊急性」を考慮し事業を施行した。

「生活道の砂利支援への提言」であるが、台風19号災害において、高齢者世帯や村境地域において進入路の路肩崩壊や寸断が数多く見受けられた。

今後は「生活道への砂利等支援事業」を検討し各行政区長とも相談の上、創設したい。

次のページは

一般質問

関根浩治議員・遠藤貴人議員



関根 浩治 議員

## 問 「人・農地プラン」作成について問う

## 答 次年度から、第5期中山間地域等直接支払制度の集落戦略として策定する

### 質問

国が策定する、新たな食料・農業・農村基本計画は、産業政策あるいは地域政策を、車の両輪として進めるとして、食料自給率向上を目指し、生産基盤強化や規模の大小や中山間地域等の条件に関わらず、農業経営の底上げにつながる対策重視や、農山村の活性化にむけて総合的に推進し、地域農業発展の各種施策実施を図るとしている。村内の農地耕作状況は、耕作放棄地の増加が見られるが、「人・農地プラン」のアンケータを実施した結果と、今後の利活用と事業計画について問う。

### 答弁(村長)

本村の現況は、耕作者の4人に1人が70歳を越え、60歳以下は20%にも満たない。水田については、全て耕作、一部耕作している農家が約半数、水田を貸している農家については、3割の農家

が後継者が居るが、残り7割の農家には、後継者不在又は未定との回答で、今後の営農継続については4割程度で、10年後の農業、農地維持については危機的状況で、耕作放棄地の増大が懸念される。

この危機的状況改善のためには、集落ぐるみの話し合いを基に、中心的な役割を持つ農業者の確保と、意欲を持つ取り組む中心農家が規模拡大や法人化するに当たって、国県等の支援を受けるためには、「人・農地プラン」の策定が必要。

次年度から第5期中山間地域等直接支払制度の集落協定、集落戦略策定に合わせて、将来の農地管理方法、中心的な農業経営者の確保を具体的にその協定を基に、行政区単位程度の「人・農地プラン」を策定する。

質問 畜産経営永続の為に、畜産クラスターの取り組みを問う

答 新年度より畜産クラスター事業を進める

### 質問

畜産クラスター事業の取組みについて、村内の基幹産業としての畜産については、高齢化の進展に伴って飼養農家の減少傾向にある中、水田での飼料米、WCSの作付け等によって水田耕作維持に多大な貢献をしているが、現在、TPPPやFTE等の貿易協定が発効していく中、追いつちをかけるように新型コロナウ



畜産クラスター事業により50%助成で施設・機械等の整備ができます。

イルスの発生に伴い、外国人観光客の減少や催物の開催中止等により、畜産物消費激減で子牛価格も安くなり、畜産経営環境を取り巻く状況は厳しい物が今後懸念され永続的に畜産経営維持の為に、畜産クラスター事業の取組みと今後の実施計画を問う。

### 答弁(村長)

畜産クラスターとは、地域の畜産の収益向上のために取組みの課題解決、畜産農家、地方公共団体、JA、畜産経営支援組織、畜産関連業者等がそれぞれの責任、役割のもとに自主的取組みをしている制度であり、これらの団体等が協議会を立ち上げて、収益向上のための取組み、役割分担等を記載した畜産クラスター計画を作成し、県知事の認定を受けると国庫補助事業等の活用ができ、畜産クラスター計画作成を検討する時期であると考えており、畜産関係団体と連携し、

### 再質問

畜産クラスター協議会を設立いただければ、長期的な視野に立つてさまざまな国庫補助、融資、ハード、ソフト面等の事業実施ができるので是非に取組みを頂きたい。

村内の水田は、平場との収益性に差があり水田での飼料米、WCS等の作付けで、助成金をいただける等メリットがあり、酪農、肉牛繁殖、養豚、養鶏等の規模拡大や、施設維持増改築、新規事業等の実施が出来るので、組織の立ち上げにいつ頃から着手できるか問う。

### 答弁(村長)

畜産振興策として、県や関係団体、生産農家等と協議の上で、この計画を策定し、県知事の許可を得て集落営農、さらには担い手育成等に有利な事業実施を導入したく新年度以降早急に取り組み。





前田 武久 議員

## 問 歯科診療所への善処を

## 答 長期間継続願えるよう折衝する



村民の安定した暮らしを守る保健センター

### 質問

村民の安定した暮らしを守る、医療機関の充実は行政の大事な役割。2月10日に本村唯一の歯科医院が閉院すると聞いた。村民の身体、生命を脅かす問題が生じ不安が募るばかりであり、再考に向け善処すべき。誠意ある対応策について伺いたい。

### 答弁(村長)

平成11年4月(元村長)小松医師無医村回避のため誘致受け入れ、医院開設。平成15年保健センターへ移設、運営委託料無償の契約とした。平成16年(前村長)施設使用料として(23万5607円)の村長提示に承服しかねるが、この先二度の譲歩はないとし受け入れ以来16年、同様の契約更新、令和元年11月、村から使用料の値上げ25倍の説明に二度の譲歩はない意向を示され、その後8回会い、小松医師も各団体や村民からの数々の署名から慰留を決めたが、村が医師を公募することを条件に、1年間限り、診療を継続される。

今後一年と言わず継続いただきたい想いは、村民も議員も同じである。

### 再質問

平成16年、自立する村づくり、その為に行財政改革を断行し、特別職、議員の報酬カット、

定数削減に踏み切った。歯科診療所施設利用の無償から徴収への契約変更、関根村長も私ども議員も、村からの報告、説明、16年間全く受けてなく、無知であったこと申し訳ない。問題は1年後、先生に再考を促し留任の努力をすべきと思うが。

### 答弁(村長)

諦めず1年かけて、先生にお願いする。

### 問 条件付交流施設の閉鎖は

### 答 新年度以降、村から切り離す

### 質問

令和元年、3千万の予算で(旧つるや旅館)民間廃業旅館を取得する条件としての交流施設(ほつとはづ)閉鎖への準備が進められていると思うが如何か。

### 答弁(村長)

現在、今まで利用された客の予約があり、今後は利用者のニーズも含めて検討していく。

### 再質問

交流施設は村長も承知のとおり、築20年。耐用年数も過ぎ、施設償還金は3億以上出費されている。施設運営費の累積赤字補填だけでも1億7千万以上で、今年度だけでも1200万の赤字で一般会計から持ち出し、財政負担となっている。前村長が民間旅館を買収する際に、さざり荘周辺の宿泊施設運営となれば、交流施設をなくすとのことで条件付で旧つるや旅館取得の予算を議決している。村長も十分に閉鎖内容は承知のこと。明確な答弁を求める。

### 答弁(村長)

交流施設に対する、数々の提案されていたこと記憶にある。都市との交流施設の目的、ほぼ果たしたと思う。

### 再質問

旧つるや経営者募集中だったが、決定されたことをマスコミ報道で知った。改修工事後の開業を目指しているが、村民の雇用条件を示されているか。

### 答弁(村長)

新しい旧つるや経営者に、従業員等々の募集をする際は、村民の雇用を承諾いただいている。

### 再質問

約束された交流施設の閉鎖は、譲渡への準備を今から進めるべきと思うが。

### 答弁(村長)

新年度以降、協議を進めていく。

# 村民の広場

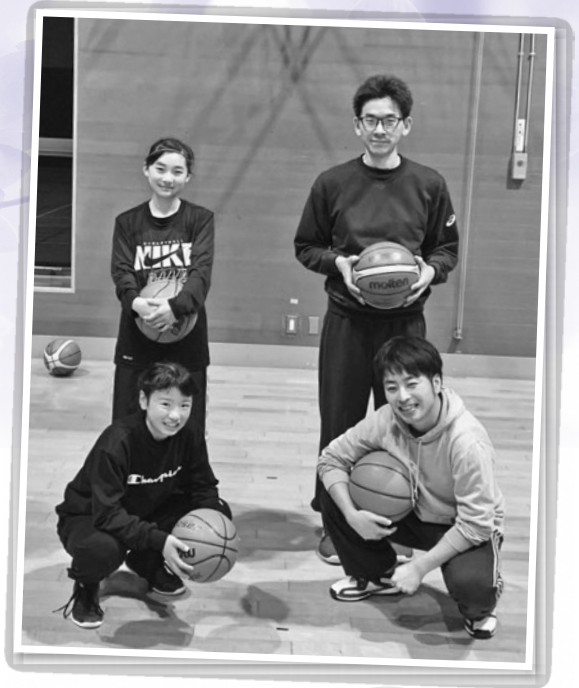
～スポーツクラブの紹介～

## 鮫川村バスケットボールクラブ(SBBC)



鮫川村バスケットボールクラブはバスケット好きなメンバーが集まり令和元年に立上げました。現在、社会人20歳～40歳位の世代で10人所属しており週1回の活動をしています。

初心者から経験者含めて、スラムダンク(90年代に流行ったバスケの漫画)世代がメインで楽しく活動を行っています。今は、練習だけで大会などは参加していませんが、将来的に鮫川村で「バスケの大会開催」を目指して活動中です。日々の練習でフリースローは上達しており、10本連続で入れられることもあります。未経験者の方、子供たち、運動不足解消したい方、バスケットがしたい方、年齢性別問わず大歓迎です。興味がある方は、是非活動時間にトレーニングセンターまでお越しください!



- ◆活動日：土曜日 午後7時～9時
- ◆場 所：鮫川村農業者トレーニングセンター

### ゆうきくんからのお願い

議会傍聴に来てくんちナイ!  
6月定例議会は6月9日からの予定です。



### 議会傍聴者からのひと言

— 6月定例議会傍聴者アンケートより —

#### ◆議員の発言内容は良くわかりましたか

・議員によっては、発言をもう少しまとめて具体的に発言されたほうが時間短縮になると思われる。

#### ◆答弁者(村長・教育委員長・職員)の発言はわかりましたか

・村長はわかりやすい言葉で説明されているのでよくわかりました。職員の答弁は声小さく分かりにくかった。

#### ◆傍聴されて気づいた点がありますか

・村長の村政に対する考えを理解し、実行部隊の職員がいかにかやる気を持つか意識改革に期待したい。

#### ◆議会全般に対してご意見ありますか

・村の人口減少が顕著で何か良い方法はないのでしょうか。また、子供たちの教育にさらなる創意工夫が望まれます。村の教育をよりしくお願いします。

# で 村 づくり を 議論

今回で7回目となる、鮫川村こども模擬議会が開催されました。鮫川小6年生の各議員が質問し、関根政雄村長が答弁しました。



大きな声で政策提言することも議員

# 力ある村に!!

## 観光振興



高野 蕉伍 議員

質問

村には鹿角平観光牧場があり、バーベキューやバンガロー、天文台などが整備されているが、観光客を増やす取組はしているか。

答弁 村長

村では鹿角平観光牧場を初め、村内の観光地や景勝地を紹介したパンフレットの作成、ホームページやYouTubeを使って、村を紹介する写真や映像を流している。また、観光牧場を運営している村内の商工業者で組織する会社では営業活動も行っている。県や県南地方と合同で観光PRに参加したり、村独自の観光PRや物産販売によって鮫川村を知ってもらう努力をしている。

再質問 鈴木 快雅議員

秋のシーズンには滝の美しい紅葉の景色を撮るためにたくさんカメラマンが殺到するが、ほかの季節には来客者が少ない。秋以外の季節に観光客が来るような取組をしているか。

答弁 村長

強滝のごみを拾ったり、遊歩道の整備も計画していく。駐車場がちょっと狭い。国道349の幅を広げる工事が始まっている。夏以外にも観光客が来る努力をする。

再質問 鈴木 快雅議員

強滝の周りにはたくさんのお木がある。冬の時期にイルミネーションをしてはどうか。どの世代の人にも気軽に来てもらえるのではないかと。

答弁 村長

いいアイデア。電源の確保は問題だが、物理的な問題はクリアできる。観光スポットを

どうやって見ていただくか、併せて検討する。

再質問 我妻 萌華議員

江竜田の滝には、観光客が滝を見るときに危ない坂道がある。木の根などでつまずいてしまう道を整備する計画はあるか。坂道を階段にするなど、安全に歩ける道にしてほしい。

答弁 村長

台風19号で進入路の路肩が倒壊したり、護岸が大きく削られていた。元に戻さなくてはならないので、道の改修も進めて安全性を高める。詳細は担当課長から。

答弁 農林商工課長

この地区は福島県から、自然環境保全地域という地域に定められている。階段や手すりを整備するためには手続が必要になる。その部分をクリアしながら、環境に配慮した整備をしていきたい。多額の費用もかかるので、国や県に対しての予算を要望しながら計画していく。

# 第7回 鮫川村 こども模擬議会

# 自由なアイデア



議事を進行する鈴木一輝議長



# 未来の村を魅

再質問 我妻 萌華 議員

体の不自由な人も江竜田の滝を訪れる。車椅子用のスロープを造ると、誰もが鮫川村の自然を楽しめる。

答弁 村長

江竜田の滝には車椅子用のトイレがなく、スロープ、防護柵もない。あそこは下り坂で砂利道。車椅子は砂利道では走りづらいので整備を進めたい。

再質問 高野 蕉伍 議員

山を切り開いて、アスレチック場や公園などの新しい観光地を造ってみては。

答弁 村長

皆さんが遊べる公園づくりを進める上で参考にしたい。鹿角平にも広大な遊び場と芝生があるので、木を活用した遊具造りも進めていきたい。

## 道路整備



蛭田 柁矢 議員

質問

僕は東石地区に住んでいるが、対向車と擦れ違うことができない狭い道路がある。今後、改修の計画はあるか。

答弁 村長

村では舗装道路のひび割れや凸凹等の調査を定期的に行って、傷みの激しい道路について、国の補助金を活用しながら、村道の舗装整備を行っている。村が管理している道路距離は234キロ。傷みの激しい路線の中でも事業の必要性、緊急性を考慮して選定し、限られた予算の中で補修工事を行っている。今後も計画的に村道の改修、補修を進めていく。

再質問 鈴木 楓 議員

高齢者の多い地区から道路を広くする工事が進むと、高齢者の方も安心して村で生活することができるようでは。

答弁 村長

村の中心部以外の道路整備がまだまだ行き届かない。村の財源を充当するだけでなく、国とか県の補助金を頂きながら計画的に進めて、高齢者に優しい道路整備を進めたい。

## 地域交通



石井 萌佳 議員

質問

高齢者の方はバスを利用しようとしても、バス停が近くにあることはほとんどない。高齢者の方がバスを利用しやすくするための対策は。

答 弁 村 長

高齢者の方々が困らないようにするため、村中の決められた時間に運行する巡回バスや、予約に応じて利用したいときに利用できるデマンド交通も、今後考えるべき大きな課題。本村の実態に合った支援策を講じていく。

再質問 生田目眞歩議員

立ってバスを待つのは、とても辛い。誰でも安心してバスを待てる、ベンチを作っては。

答 弁 村 長

バスを待つベンチは町に行くところにもあるが、本村にはない。ベンチを置いて占用する道路占用許可がクリアできれば置くことが可能。どこのバス停に幾つ必要なのか教えて欲しい。

再質問 関根愛架哩議員

バス停がどこにあるのか、何時にバスが来るのか分からない。バス停がある場所と時刻表が分かるマップを作ってはどうか。

答 弁 村 長

村民の方にきちんとお知らせする必要があります。鮫川村バス路線図時刻表は、細かくて字が見えない。提案のとおり、地図を大きくすることを検討する。

### 買物支援



本郷 芽生 議員

質問

緊急で物が必要になったとき、村内にお店がないと不便。ドラッグストアなどのお店をつくる予定はあるか。

答 弁 村 長

村内の小売店でも、売れないかもしれない物品をそろえられないのが現状。ドラッグストアなども採算が合わないことから、出店されることは望めない。村民の店すまいるに緊急用のものは置いてある

ので、ご利用いただきたい。

再質問 須藤 絢議員

ドラッグストアだけでなく、日用品が買えるところを探せるか。そちらの計画はあるか。

答 弁 村 長

人口が減ってきてしまった中で経営は大変難しい。しかし、最低限度必要なものを揃える努力をしたい。

答 弁 農林商工課長

すまいるの品揃えで何か要望があれば、消費者の意見を参考に仕入れをする。運営に対して、村では年間800万円ほどの補助金を出している。できれば、村のお店すまいるを利用して欲しい。

再質問 舟木 椋音議員

中野地区にお店が多く、村の端から移動すると時間がかかる。高齢者の家に配達してはどうか。

答 弁 村 長

現在、120軒の高齢者に配達しているので、10件に1件はすまいるを利用して欲しい。これからは高齢者は増える。配送車を増やすかどうかを検討しながら、宅配事業をさらに進めたい。現在のすまいる館では宅配をしないが、すまいる館と連携させたい。

### 森林整備



松本 洸優 議員

質問

鮫川村は村の約80%が森林。木が折れたり、つたが絡まったりして荒れている山を、今後どうするのか。

答 弁 村 長

村では、国の補助金を受けて福島森林再生事業を実施。年間約30ヘクタールの整備をしているが、村内の民有林

を全て実施するには200年かかる。森林が荒れていくのを防ぐためには、森林所有者と森林を整備する事業者が協働で森林資源を守らなければ。管理の行き届いていない森林所有者に森林管理の必要性を理解いただき、美しい森林環境に努めていく。

再質問 須藤 翔勇議員

荒れている山の木を切つて、鮫川に新たな施設を造つてみては。また、まきストーブを設置することで木を有効活用することができ

答 弁 村 長

公共工事や建物を建てるためには、崩れない強度を持った建物が求められるが、木でも体育館や役場は建てられる。木造りでぬくもりのある施設づくりに努める。

再質問 阿久津結斗議員

荒れた木を伐採するための費用について、

答 弁 村 長

家の近くの道路沿いはゴミが多く、それを捨てられるゴミについては、

何か検討しているか。村の人たちから少しづつお金を集めて費用にするのはどうか。

答 弁 村 長

今後の森林を、どうやって整備していくのか担当課長から説明する。

答 弁 農林商工課長

森林を整備するためには、お金がかかる。住民税として納める税金に1,000円ずつ上乗せする森林環境譲与税。自分の地域は自分で守る視点は、森林環境税の成り立ちに組み入れられている。

### ゴミ問題



鈴木 壮大 議員

質問

家の近くの道路沿いはゴミが多く、それを捨てられるゴミについては、



て、何か対策を立てているか。

答 弁 村 長

不法投棄監視員と  
いって、ゴミを捨てない  
よう監視する人が29人  
いる。定期的に、空き  
缶やゴミを拾っている。  
今後、村の売店では持  
参した袋に品物を買っ  
ていくような仕掛けを  
考え、レジ袋を無くし  
たい。

再質問 舟木 蒼議員  
地域ごとに行われる  
ゴミ拾いは、月に1回  
程度となつている。2週  
間に1度、地域ごとに  
ゴミ拾いを義務付けて  
はどうか。

答 弁 村 長

ゴミを出さない心構  
えや、拾う人をどうやっ  
て増やしたらいいかに関  
して、担当課長のほう  
から答弁する。

答 弁 地域整備課長

ゴミを減らすには奉  
仕作業の回数を増やす  
のも一つの方法である  
が、ゴミが捨てられな

ければ拾う必要もない。  
できるだけ、ゴミを少  
なくすること、適正に  
処理することをお願い  
したい。

### 鳥獣対策



野崎 結生 議員

質 問

鮫川村には野生動物  
が多く、畑などが荒ら  
されるのが起きてい  
る。野生動物の対策や  
駆除はしているか。

答 弁 村 長

鳥獣被害の防止策と  
して、野生動物が来な  
いための、電気を流す  
柵を設置する補助金を  
設けている。それと、  
狩猟免許を所有してい  
る人たちでつくる鳥獣  
被害対策隊の活動も支  
援している。

再質問 中川 妃莉議員

車で走行していると  
き、イノシシに危うく  
ぶつかりそうになった。  
動物が道路へ入れない  
柵を作ってはどうか。

答 弁 村 長

日本の高速道路は外  
部から人が入れないよ  
うになつているが、カナ  
ダの高速道路は大草原  
の中に道路が走ってい  
る。動物が自由に行き  
帰ることができるよう、自然  
保護の関係で考慮して  
いるとのこと。動物が  
出てきても、すぐに止  
まれるような安全運転  
をお願いしたい。

再質問 藤元 颯太議員

野生動物に触れ合える  
施設を造ってはどうか。

答 弁 村 長

福島民報社まちづく  
り大賞に応募したアイ  
デアにも、野生動物に  
親しめる公園づくりの  
提案があった。野生動  
物と、どのように親し  
むのが良いか皆さんと  
検討したい。

### 災害対策



高野 朱莉 議員

質 問

昨年の台風19号で裏  
山が崩れ、とても危険  
だった。鮫川村で安全  
に暮らすため、土砂崩  
れへの対策はどのよう  
にしているのか。

答 弁 村 長

鮫川村カレンダーに  
土砂が流れてくるので  
はないかという警戒区  
域の地図があるが、作  
り直さなくてはならな  
い時期に来ていて。新  
年度以降、ハザードマッ  
プを作り直し、皆様に  
分かりやすく提示する  
ための構築をする。

再質問 中川西 悠議員

危険な場所を防災マッ  
プで呼びかけ、知つても  
らうことが大切。鮫川  
村ハザードマップを広報  
の別紙で入れてみては。

答 弁 村 長

書面で分かりやすく、  
村民の人が分かるよう  
な危険箇所の予知、安  
全対策の表示を進めて  
いく。

再質問 水野 友暉議員

大きな地震が起きた  
場合、高齢者が避難す  
るときにどのような対  
応をするのか。

答 弁 村 長

昨年の台風19号でも、  
高齢者から優先的に避  
難していただいた。担  
当課長から避難時の詳  
細説明を。

答 弁 総務課長

高齢者の避難は、身  
近な存在である家族で  
助け合うことが一番。  
次に、近所の住民や親  
戚。村では災害時、自  
分一人では避難が遅れて  
しまうなど、何らかの  
支援が必要な方の名簿  
を作成している。この名  
簿は警察署や消防署、  
民生委員や消防団員に  
渡され、安否確認や避  
難誘導などに役立てて  
いる。

再質問 藤田 深吾議員

村内放送で避難の呼  
びかけや、救助をするか。

答 弁 村 長

防災無線を有効に  
使って、避難場所の指  
定や避難行動の開始を  
私自身が伝える。

再質問 藤田 深吾議員

救助とは具体的にどの  
ようなことをするのか。

答 弁 村 長

台風19号の時は、鮫  
川村消防団に救助のお  
願いをした。村では1  
人で住んでいるお年寄  
りの名簿を持っているの  
で、避難したか否かを  
チェックして、救助を進  
めている。

# ふるさと鮫川への想い シリーズ③⑥



**石井 幸吉 さん**

東京都足立区在住  
(青生野字大犬平出身)

## ◆プロフィール

【学 歴】 県立埼玉工業高校卒業

【趣 味】 音楽鑑賞、海釣り

【家 族】 妻、一男、一女

例年になく、桜の花が早く咲き始めました。でも、美しい桜とは対照的な、目に見えない不安が全世界に広がりを見せて、収束の兆しは見えず、日常生活への影響が深刻化しています。不要不急な外出の自粛、3密を避ける等の要請、街中や公共交通機関ではマスクを着用し、在宅勤務や時差通勤等で、不便を強いやられ、政府の緊急事態宣言

が発令され、不安な毎日を過ごすなか、一日も早い終息を待ち望んでいます。ふる里、鮫川村も原発騒動で大変なご苦労をされ、安全・安心な村づくりの途上の中、今回の新型コロナウイルス騒動で二重の対応にご苦労されていることと思いますが、皆さま一丸となり、ふる里、鮫川村をもう一度よみがえらせてください。

毎年、春先になると下宿通学を終え、心弾ませて憧れの上京時を思い出します。時の流れの早さが嘘のように感じます。今でも思い出されるのが、バスに乗車するまで1時間、年に一度の文化祭に行くのに2時間くらい歩きました。何の不自由も感じず、生まれ育った田舎に不満もなく、今でも帰省するたび懐かしさを味わっています。小さい時から農家の手伝いや歩く習慣で体力も自然に鍛えられたせいなのか、70歳を過ぎた今でも、仕事が続けられていることに感謝しありません。

今では東京から車で帰省すると、3時間弱で着きます。あと何年、元気を保ち、帰省できるか分りませんが、10年、20年と一生涯、心のふる里を愛し続けたいと思います。

心のふる里を愛し続けたい

ご寄稿いただける方を  
ご紹介ください

鮫川村議会だよりでは、村外にて生活をされている方から「ふるさと鮫川への想い」へのご寄稿を募集しています。ご紹介いただける方は、議会議務局までご連絡ください。

## 【議会事務局】

0247(49)3115まで

## 編集後記

新型コロナウイルスの感染が世界的大流行となり、東京オリンピック・パラリンピックも延期になりました。3月定例議会も全員がマスク着用での議会となりました。学校も休校になり、鮫川村立小学校、中学校の卒業式と入学式も来賓自粛の中で行われました。

編集委員も分かりやすい「議会だより」を目指しますので、御愛読いただき、ご意見ご要望をお寄せください。

(広報編集委員)